



木育で豊かな心を！

3月11日

びほろ木育ランド

会場には木製遊具の釣り堀やスマートボール、滑り台などが並び、子どもたちは会場を遊び回って木に親しんでいました。

びほろ町

ぎかい

3月定例会のあらまし

- 行政報告・補正予算など …… 2 P
- 令和5年度予算質疑 …… 4 P
- 議会運営委員会が事務調査結果を報告 …… 6 P
- 議員提出により条例を制定・改正 …… 6 P
- 意見書 …… 6 P

こんなことを聞きました

- 一般質問 13人登壇 …… 6 P

任期を終えて

- 退任あいさつ …… 20 P

5月初議会のお知らせ

- 美幌町議会新体制がスタート …… 20 P

No. **248** 令和5年5月1日

広報の発行は、5月・8月・11月・2月の年4回です。



3月定例会のあらまし

- 2日** 町長から行政報告を受けた後、議会提出案件として議会運営委員会事務調査結果を報告し、美幌町議会の個人情報保護に関する条例、美幌町議会委員会条例の一部改正を審議し、原案どおり可決しました。その後、町提出案件としてオホーツク町村公平委員会委員の選任、美幌町農業委員会委員の任命、条例制定及び補正予算など令和4年度関連議案を審議し、原案どおり可決しました。続いて、令和5年度関連議案を一括上程し、予算編成方針と教育行政執行方針が示された後、議員2名(戸澤・木村)が一般質問に登壇して、学校部活動、若手世代への支援などについて活発な議論が交わされました。
- 3日** 議員5名(古舘・藤原・馬場・坂田・松浦)が一般質問に登壇し、学校給食費の無償化、行政効率化、少子化対策、がん教育、美幌駐屯地隊員への支援などについて活発な議論が交わされました。
- 6日** 議員5名(稲垣・大江・上杉・伊藤・高橋)が一般質問に登壇し、障がい福祉、デマンド型バスの利用促進、子育て支援、公共交通、地域経済の活性化促進などについて活発な議論が交わされました。
- 7日** 議員1名(岡本)が一般質問に登壇し、美幌の魅力づくりについて活発な議論が交わされました。続いて、各担当部長から新年度関連議案について説明を受けました。
- 8・9日** 休憩中に各議員が新年度予算案に対する疑問点を整理し、関係部局へ資料を要求しました。
- 10・13日** 議決休会とし、各議員が資料を要求したものに対して関係部局が資料を作成しました。
- 14・15日** 新年度予算案など議案に対する質疑を行いました。
- 16日** 会派等審議を行った後、新年度関連議案の表決が行われ、すべて原案どおり可決しました。その後、追加議案(令和4年度及び令和5年度一般会計補正予算)を審議し、原案どおり可決しました。続いて、1件の意見書案を可決し、定期監査報告などの報告を受け、改選期前最後の議会となるため、町長・議長から退任の挨拶が行われ、全日程を終了し閉会しました。

町長の行政報告(要旨)

■ご寄付

本田忠盛様から、博物館の備品充実のために役立てていただきたいと183万7千円のご寄附をいただきました。ご厚志をありがたくお受けし、ご趣旨に沿って備品の充実を図ってまいります。

■防衛3文書

昨年12月16日、日本の安全保障の指針となる防衛3文書(国家安全保障戦略、国家防衛戦略、防衛力整備計画)が閣議決定されました。

新たな国家防衛戦略では、自衛隊の体制整備について「統合運用の実効性を強化するため、陸海空自衛隊の一元的な指揮を執る統合司令部を常設し、統合運用に資する装備体系の検討を進める」とする一方で、「陸上自衛官の現定数を約2千人減少したうえで、自衛隊の組織定員と装備の最適化を図るため、スクラップ・アンド・ビルドを徹底する」ことが明記されております。

3月下旬、美幌に駐屯する第5旅団隷下の第6普通科連隊は、即応機動連隊への改編完結を迎えますが、高い機動力と即応性を備える即応機動連隊は、災害などで全国に機動展開する部隊となります。隊員及びご家族のサポートが今まで以上に必要となります。美幌駐屯地と締結している協定書に基づき、町全体でしっかりと支援に努めるとともに、即応機動連隊の即応性・対処力を高めるためにも、隊員の充足率の向上と配備される装備品の完全充足、ひいては美幌駐屯地の充実と強化を求め、町内の関係者をはじめ、隊区内2市8町が一丸となって、要望活動を展開してまいります。

■美幌町立国民健康保険病院の医師確保

令和5年4月1日付けで伊熊素子内科医師を採用しました。今後も引き続き、地域医療を守り、良質な医療サービスを提供するため、必要な医師確保に取り組んでまいります。

こんなことを決めました

人事案件

選任・任命の同意をしました。

■オホーツク町村公平委員会委員 山下英二氏(新)

■美幌町農業委員会委員

鎌 仲 照 幸氏(再)	山 岸 洋 文氏(再)	川 原 英 和氏(新)
千 葉 正 美氏(再)	梅 津 幸 一氏(再)	木 村 勝 彦氏(再)
小 林 寿 美氏(再)	安 藤 良 司氏(再)	坂 本 和 裕氏(新)
田 村 秀 司氏(再)	佃 徹 氏(再)	日 並 洋 氏(再)
高 崎 利 彦氏(再)	小 泉 豊 和氏(再)	佐 藤 章 平氏(新)
中 川 誓 子氏(再)	酒 井 祐 二氏(新)	鳥 井 隆 氏(新)
武 田 透 氏(再)	中 村 寿 恵子氏(再)	

令和4年度関連議案

条例制定

原案どおり可決しました。主な内容は次のとおりです。

■民法等の一部を改正する法律の施行に伴う関係条例の整備に関する条例制定
親権者の懲戒権に係る規定が削除されたことに伴い、関係条例から懲戒に係る規定を削除する改正

補正予算

令和4年度補正予算(一般会計・4特別会計・2事業会計)はすべて原案どおり可決しました。主な内容は次のとおりです。

■一般会計

役場庁舎改築事業の完了に伴う減債基金への積立金 1億7,837万円
新型コロナウイルス感染症検査費用支援金 798万5千円 の増額など

■特別会計・企業会計

- ・国民健康保険特別会計
直営診療施設繰出金の増額など
- ・介護保険特別会計
特定入所者介護サービス給付事業負担金の増額など
- ・公共下水道特別会計
建設事業費の確定に伴う減額など
- ・個別排水処理特別会計
個別浄化槽設置工事費の確定に伴う減額など
- ・水道事業特別会計
水道管路整備事業費の確定に伴う減額など
- ・病院事業特別会計
新型コロナウイルス感染症に係る検査用薬品費の増額など

各会計補正額と補正後の総額

会計名	補正額	補正後の総額
一般会計(第13号)	△1億1,076万4千円	129億9,474万2千円
国民健康保険特別会計(第3号)	241万2千円	26億3,395万7千円
介護保険特別会計(第3号)	74万7千円	21億5,326万9千円
公共下水道特別会計(第4号)	△1,649万3千円	10億4,116万5千円
個別排水処理特別会計(第3号)	△1,563万7千円	1億364万1千円
水道事業会計(第3号)	△2,378万8千円	10億5,805万1千円
病院事業会計(第5号)	△705万円	23億6,867万9千円

※()内は、補正回数

令和5年度関連議案

条例制定・改正

すべて原案どおり可決しました。主な内容は次のとおりです。

■美幌町基金条例の一部改正

美幌町役場庁舎改築事業が完了し3月31日をもって基金のすべてを処分することから、役場庁舎改築基金に関する文言を削除する改正

■児童福祉施設の設備及び運営に関する基準の改定に伴う関係条例の整備に関する条例制定

関係条例に乳幼児などのバス送迎時の安全管理の徹底を図るため、点呼やブザーなどの装置により乳幼児などの所在を確認する規定を加えるなどの改正

■美幌町国民健康保険条例の一部改正

出産費用が年々上昇する中、平均的な標準出産費用をすべて賄えるようにするため、出産育児一時金の基本額を改正

こんなことを決めました

一般会計

118億8千926万9千円

美幌町制100周年記念事業、移住定住施策の推進、子ども子育て支援の充実、脱炭素施策の推進、商工業・観光振興など

令和5年度の予算編成にあたっては、長引くコロナ禍の影響や原油価格・物価高騰への対応などにより厳しい財政状況が予想される中、第6期美幌町総合計画を着実に推進し、計画初年度となる第3次美幌町財政運営計画を見据えながら予算編成作業を進めてきたところです。本年度は統一地方選挙の年であり、当初予算については町政運営の基本的な経費を中心とした骨格予算の位置づけとなりませんが、住民サービスのさらなる向上、社会情勢の変化にあわせ喫緊の政策課題に対応するため、必要な予算を計上した結果、一般会計は118億円の予算規模となりました。ここでは、一般会計の主な予算質疑内容をお知らせします。

総務費

美幌町PR動画

作成委託料 (121万円)

問

事業内容は。

答

町制100周年を機に町のPR動画を作成し、町外者への町の知名度の向上を図るもので、撮影・編集は町内業者へ委託し、①Web用として30秒、②美幌峠や町内各施設でのモニター用として3分、③各種行事・式典や町外で町をPRする機会用として15分の動画を作成するものである。

旧ゆうあいセンター

解体除却工事

(1億499万5千円)

問

事業内容は。

答

令和2年度に未利用施設の除却に関する内部計画を策定し、計画的に解体除却を進めているところ。町では令和3年度から民間住宅に空き家解体費用の助成事業を創設し、民間住宅の解体を推進しており、未活用公共施設についても補助事業を活用するなど計画的に解体を実施している。工事概要として、実施設計業務に基づき解体工事、基礎杭撤去工事、外壁及び煙突などに確認されたアスベスト除却工事などによる積算をしている。



旧ゆうあいセンター

民生費

結婚新生活支援

事業補助金 (540万円)

問

拡充内容は。

答

対象要件の夫婦の所得要件について、夫婦の所得金額の合計を400万円から500万円に緩和した。また、補助金額について、年齢に関係なく一律最大30万円であったものを、夫婦ともに29歳以下の世帯は最大60万円の補助金額に増額したものである。



衛生費

再生可能エネルギー導入戦略策定事業委託料 (1000万円)

問

事業内容は。

答

昨年3月に美幌町は「ゼロカーボンシティ」を宣言し、2050年までのゼロカーボン達成を目指しているが、再生可能エネルギーの導入が欠かせないことから、ポテンシャルや社会的、経済的な効果を踏まえた可能性を調査し「再生可能エネルギー導入戦略」を策定し、令和6年度策定予定の「地球温暖化防止実行計画(区域施策編)」の基礎資料とするため、①現状分析、②再生導入目標策定、③導入目標策定委員会の開催などを事業内容としているものである。

令和5年度当初予算

一般会計歳出予算と主な事業

◆新規事業 ◇拡充事業 (対前年比)

議会費	8,208万7千円	(3.1%)	商工費	4億9,332万8千円	(△4.0%)
総務費	10億8,108万8千円	(20.3%)	◆商店街街路灯LED交換修繕	1,684万8千円	
◆美幌町PR動画作成委託料	121万円		◆美幌峠レストハウス展望休憩室整備	870万6千円	
◆旧ゆうあいセンター解体除却工事	1億499万5千円		土木費	12億4,345万2千円	(3.0%)
◇移住相談拠点施設運営等業務委託料	1,449万8千円		◇住宅リフォーム促進補助金	3,460万円	
◆友好姉妹都市交流事業負担金	62万6千円		◆旭団地7号棟実施設計委託料	556万7千円	
民生費	26億4,635万2千円	(△2.5%)	消防費	4億3,503万3千円	(△3.3%)
◇介護従事者確保対策事業補助金	300万円		教育費	10億7,894万9千円	(24.2%)
◇結婚新生活支援事業補助金	540万円		◇美幌高等学校教育支援事業補助金	1,377万6千円	
衛生費	11億6,852万4千円	(△8.4%)	◆美幌中学校校舎LED照明設置工事	2,335万3千円	
◆出産・子育て応援支援金	900万円		◆北中学校校舎等LED照明設置工事	4,015万4千円	
◆再生可能エネルギー導入戦略策定事業委託料	1,000万円		◆柏ヶ丘公園改修等整備事業	7,480万円	
労働費	2,443万円	(△0.2%)	公債費	9億7,345万7千円	(△5.3%)
農林水産業費	7億2,739万9千円	(1.4%)	職員給与費	19億3,417万円	(3.1%)
◇農作物原産種圃設置事業補助金	179万2千円		予備費	100万円	(0.0%)
◇森林の担い手支援等補助	272万円		合計	118億8,926万9千円	(2.0%)

農林水産業費

農作物原産種圃設置事業補助金 (179万2千円)

事業内容は、

①継続事業として、優良種子の確保により農作物の安定生産と品質保持が図られることから、原産種圃を設置する種子生産者に対して必要経費の一部を補助するものである。

②拡充事業として、種子用の種代は作物の種代より高価なため、種子生産者が購入する種子用種代と作物用種代の差額の一部を補助するものである。



商工費

商店街街路灯LED交換修繕 (1684万8千円)

事業内容は、

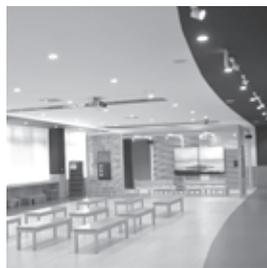
①桜通(20基)の既存街路灯を撤去し、20基のLED街路灯を設置、②有楽通(5基)の既存街路灯を撤去し、4基のLED防犯灯を設置するものである。

美幌峠レストハウス展望休憩室整備 (870万6千円)

整備内容は、

令和4年4月のリニューアルオープンを契機に美幌峠レストハウス1階における町内小規模事業者の販路開拓支援などを目的として、商工会議所を事務局とする美幌峠レストハウスマーケティング

特別委員会が設立された。その中で、利用客からの口コミや要望をもとに2階の有効活用に向けた課題整理がなされ、活用方法について提案があったことから、展望休憩室における快適さの向上及び情報発信を強化するため整備するものである。



美幌峠レストハウス

教育費

柏ヶ丘公園改修等整備事業 (7480万円)

整備内容は、

野球場の屋外夜間照明の劣化が進んでいるため交換が急がれることや高騰が続く電気料の抑制、温室効果ガスの排出量を削減する必要があることから、脱炭素事業債を活用しLED化を実施するものである。



柏ヶ丘公園

土木費

旭団地7号棟建設実施設計業務委託料 (556万7千円)

事業内容は、

美幌町公営住宅等長寿命化計画に基づく順次建替事業による最初の建替は旭町団地を予

議会運営委員会が事務調査結果を報告

全文はQRコードからアクセスできます。全文はこちら →



令和5年3月定例会において議会運営委員会(馬場・戸澤・岡本・上杉・高橋)が事務調査結果を報告しました。その概要をお知らせします。



馬場委員長

■各委員会などにおける座席及び意見書などの署名

- ・当選回数及び年齢による座席を改め、時計回りに議席番号順の座席とする。
- ・意見書などの署名も座席番号順の署名とする。

■一般質問時間の拡大

- ・1時間で足りない状況であった議員が2定例会連続して半数を超えた際、再度検討・協議を行う。
- ・第20次美幌町議会議員から持ち時間の延長に関する意見が出された際はさらなる検討・協議を行う。

■会派の構成人数及び議会運営委員会委員定数の見直し

- ・現状において3人以上の会派構成は難しい状況が続いていること、また、他議会で会派構成が2人以上で会派とみなしているところも多数見受けられることから、第20次から議員2人以上をもって会派とみなす。
- ・議会運営委員会委員の定数は、2人以上の会派で構成される最大の会派数に合わせ、5人から7人以内とする。

こんなことを決めました

議員提出により条例を制定・改正

■美幌町議会の個人情報の保護に関する条例の制定

- ・地方議会が個人情報の保護に関する法律による直接適用の範囲外となることに伴い、新たに条例を制定

■美幌町議会委員会条例の一部改正

- ・議会運営委員会委員の定数を5人から7人以内に改正
- ・オンラインを活用した委員会開会の特例の規定を加える改正

令和5年3月定例会に議員から提出された条例制定などはすべて原案どおり可決しました。主な内容は次のとおりです。

1件の意見書案を可決し関係機関へ提出

■食料安全保障の強化及び食料・農業・農村政策の確立と酪農・畜産経営の安定を求める意見書(要旨)

- ・世界の食料事情の変化や気象変動による農業被害などに鑑み、食料の安定生産・供給に向けて、生産資材の安定的な確保や担い手・労働力の育成・確保、再生産可能な直接支払制度の導入など機動的な施策の拡充や予算の確保により、生産基盤を一層強化し、国内生産の増大を図る食料安全保障政策として強化すること。
- ・国内酪農・畜産経営はかつてないほど厳しい情勢にさらされ、存続の危機に瀕していることから、官民一体での在庫削減などの需給調整対策を行い、牛乳乳製品の消費拡大の一層の強化や新たな需要創出などで、一刻も早く需給改善を図ること。

令和5年3月定例会では、4件の意見書の提出を求める要請・陳情のうち、1件の意見書案を可決し国などの関係機関へ提出しました。主な内容は次のとおりです。

【提出先】内閣総理大臣 外

一般質問とは

一般質問は定例会において、議員が町政全般にわたり執行機関(町や教育委員会など)に対し、事務執行の状況や将来に対する方針の考え、疑問点などについて質問するものです。

一般質問は議員固有の権限の一つで、議案審議とともに議会活動の中において最も重要なものであり、行政の執行を監視し、建設的に政策を論議することで、公正な行政を確保するものです。

- | | |
|--|---|
| <ul style="list-style-type: none"> ■ 戸澤 義典 議員…7頁 <ul style="list-style-type: none"> ① 学校部活動 ② 町民会館使用料 ③ 新型コロナウイルス感染症等対策 ■ 木村 利昭 議員…8頁 <ul style="list-style-type: none"> ① 若者のくらしやすいまちづくり ② 観光振興 ■ 古館 繁夫 議員…9頁 <ul style="list-style-type: none"> ① 学校給食費無償化 ② 高齢者支援及びサポート ■ 藤原 公一 議員…10頁 <ul style="list-style-type: none"> ① 行政効率化 ② 避難所運営 ■ 馬場 博美 議員…11頁 <ul style="list-style-type: none"> ① 少子化対策 ② 農業振興対策 ③ 子育て支援の充実 ■ 坂田美栄子 議員…12頁 <ul style="list-style-type: none"> ① 教育行政 | <ul style="list-style-type: none"> ■ 松浦 和浩 議員…13頁 <ul style="list-style-type: none"> ① 美幌駐屯地隊員への支援 ■ 稲垣 淳一 議員…14頁 <ul style="list-style-type: none"> ① 福祉行政 ② 公共施設充実整備 ■ 上杉 晃央 議員…15頁 <ul style="list-style-type: none"> ① デマンド型バス利用促進 ② 障がい者雇用 ■ 大江 道男 議員…16頁 <ul style="list-style-type: none"> ① 少子化対策・子育て支援の充実 ■ 伊藤 伸司 議員…17頁 <ul style="list-style-type: none"> ① 地域公共交通計画 ■ 高橋 秀明 議員…18頁 <ul style="list-style-type: none"> ① 地域経済の活性化促進 ■ 岡本美代子 議員…19頁 <ul style="list-style-type: none"> ① 美幌の魅力づくり ② 花いっぱい街づくり事業 ③ 公園整備 |
|--|---|

一般質問には13人が登壇

質問者と質問項目

各議員の一般質問録画映像はQRコードからアクセスできます



◆戸澤義典 議員



学校部活動

問 地域移行にかかる今後の取組は

答 課題解決に向けた方策を検討するとともに関係団体と協議し体制を整えていきたい

問 美幌町では学校部活動、地域クラブ活動において全国・全国的に輝かしい成果を挙げているが、今後は学校部活動と地域クラブ活動のさらなる連携が必要と思われる。部活動の地域移行の現状と今後の取組は。

答 これまで両中学校の現状や関係団体と意見交換を通じた動

向の把握のほか、全道・管内における会議の参加、教育委員会内での情報共有や地域移行にあたっての課題の整理など、提言で示されていた休日の学校部活動の地域移行の目標時期である令和7年度末を目指し取り組んでいるところ。今後は、早期の実現に向け、次年度は指導主事を1名増員した中で準備を加速し、中学校間の連携調整をはじめ運営団体や指導者、練習場所の確保など多岐にわたる課題解決に向けた具体的な方策を検討するとともに、関係団体

と協議し、地域移行に向けた体制を整えてまいりたい。

町民会館



使用料の減額は

問

町内で大多数の宴会を行う施設は町民会館しかない状況であるが、使用料は安くない。3階中ホールA・Bと配膳室を5時間使用で9千円、冬季は暖房料4千500円がプラスされ、さらに配膳室設備や音響設備を使用すると1万6千円から7千円となり、



町民会館

一人あたりの料金負担は50人規模で326円となる。配膳室と配膳室設備は無料とするなどの特例があれば違うと思うが、アルコールを伴う飲食での使用料減額の可能性は。

答

町民会館にバンケット機能の充実を求める声や使用料の負担軽減などについてご意見をいただいている現状を踏まえ、今後、どのように利用者のニーズに応じていけるか検討を進めてまいりたい。

コロナと物価高騰対策

今後の対策は

問

これまでの新型コロナウイルス感染症と原油価格物価高騰等対策の成果と今後の対策は。

答

生活者支援として「物価高騰臨時支援給付金給付事業」など、事業者支援として「新型コロナウイルス対策事業者支援金給付事業」や「原油価格・物価高騰対策事業者支援金給付事業」などの実施により、一定の成果を得られたと事業評価している。今後は国や北海道の方針に準じた対策を引き続きとつていくこととしており、国と北海道の動きを確認のうえ町民のみなさまにも知らせるとともに、感染症対策を行ってまいりたい。

各議員の一般質問録画映像はQRコードからアクセスできます



◆ 木村利昭 議員

まちづくり

問 家族を持つ前の若世代への支援は

答 これまでの取組を継続するとともにすべての人が住んで良かったと思えるまちづくりを推進したい

問 美幌町は高齢者をはじめ、子育て世代や子どもへの支援なども充実しており満足とは言えないまでも安心して子どもを産み育て、安心して歳を重ねられるまちだと思っている。その切れ目の無い町民への支援策を見ると、子育て支援を除く、若手世代への支援が弱いのではないかと感じている。家族を持つ前の若

手世代が美幌町で自己研鑽を行うことで幸せを感じ、そのまま美幌町で子育てをしながら定住できるような支援が必要であると考え。給与は上がらず、生活費の負担が増え、自分の楽しみに時間やお金を掛ける余裕が少ない若者も多いのが現状である。これからの地域の支え手、コミュニティの担い手として力を発揮してもらうためにも、この世代へのアプローチは重要と考えるが、家族を持つ前の若手への支援の考えは。

答 町民が自ら企画し取り組む活動に対し補助することにより地域コミュニティの活性化及び活力ある地域社会を実現することを目的とした「びほろの活力共創事業」や、青年層が幅広い知識を習得するとともに職業や年齢を超えた新たな交流を通じ地域社会をリードする人材を育成することを目的とした「青年講座」を実施している。加えて「びほろ未来ミーティング」を制度化し、若者と意見交換ができる環境も整備しているところ。これまでの取組を継続するとともに引き続き若者を

問 今年1月、弟子屈の川湯近郊に大手リゾート企業2社の進出が発表された。この追い風を利用して町内に観光客を誘導する施策を早急に打つべきと考える。その一つとして、みどりの村森林公園の民間活力による再開発について検討すべきでは。



はじめすべての人が住んで良かったと思えるまちづくりを推進してまいりたい。

観光振興

観光客の誘導策は



みどりの村森林公園

答 美幌みどりの村森林公園の再開発は、グリーンビレッジ美幌を含め、交流拠点、学びと憩いの場として、みどりの村全体の方向性を検討してまいりたい。なお、みどりの村旧休憩施設を改修し、4月には移住相談拠点施設がオープンする予定であり、民間事業者の活力を活かした可能性についても併せて検討を進めてまいりたい。

各議員の一般質問録画映像はQRコードからアクセスできます



人口減少

対策

問 学校給食費無償化の考えは

答 多額の財政負担が伴うことから全体的子育て支援施策の状況も踏まえて慎重な判断が必要である

◆古舘繁夫 議員



問 学校給食費の無償化は美幌町に住み続けたいと思う方々、また美幌町に移住を考える方々への強いメッセージになると思うが、無償化の考えは。

答 子育て世帯の経済的負担の軽減の観点からも学校給食費の軽減は有効な支援策であるが、財政負担の面からこれまで

第3子以降の世帯に対して給食費の無償化を実施しているところ。本来、学校給食費の無償化は義務教育の公費負担の原則から国が費用負担の責任を果たすべきと考えている。一方、昨年から続く食材の価格高騰の状況から給食費を値上げしなればならない窮状にあるが、これまでの経済情勢を考慮し子育て世帯への負担とならないよう何らかの支援策を講ずる必要があると認識している。しかし、無償化は多額の財政負担が伴うことから、全体の子育て支援施策の

状況も踏まえて慎重な判断が必要である。



住みたいと思う町民への応援は

問 人口減少を食い止めることは大変厳しい状況にあるが、美幌町に住みたい、住み続けたいと思う町民に対する応援としてどのようなものがあるか。

答 「第6期美幌町総合計画」や「まち・ひと・しごと創生総合戦略」により、子育て

て・医療・福祉施策、インフラ整備を進めており、今後も引き続き「この町に住みたい、住み続けたい」と思っていただけける施策を進めてまいりたい。

高齢者支援

問 入浴料金などの無償化は諸先輩方が築き上げてきた御苦労に対する感謝の思いとして、70歳以上の町民の方々への峠の湯入浴料金及びデマンドバス「もーびー」乗車料金を無償化すべきでは。

答 70歳以上の町民に対する入浴料金無償化は、恒久的な多額の財政負担を伴うことから、現在のところ考えていないが、今後利用者サービ

スの向上に努めてまいりたい。デマンドバス「もーびー」は令和4年1月に策定した「美幌町地域公共交通計画」に基づき公共交通の収支改善に取り組んでいるところ。町民のみならずにご理解をいただきながら将来に向けて持続可能な公共交通を構築していくためには一定の受益者負担は必要であることから、現状では無償化することは難しいと考えている。今後、公共交通の利用状況などを注意深く見ながら交通事業者や関係機関と協議し、適正な運賃設定に努めてまいりたい。



峠の湯 びほろ

各議員の一般質問録画映像はQRコードからアクセスできます



◆藤原公一 議員

行政効率化

問 書かない窓口の導入計画は

答 書かない窓口の仕組みを研究のうえ、来庁者のさらなる利便性の向上に努めたい

問 職員の聞き取りなどによる「書かない窓口」が全国の自治体で広がっている。北見市ではいち早く導入し、申請時間の短縮に努めたとの意見も聞いている。「書かない窓口」の導入計画は。

答 美幌町独自の取組として転出時に発生する各種手続きや親族が亡くなられた時

などに必要な届出は一度の来庁ですべて

の手続きをご案内のうち、関係課との連携を図りながら来庁された方の負担を極力軽減すべく、一か所ですべての手続きが取れるワンストップサービスを実施しているところ。今後

もワンストップサービスの推進に努めるとともに、書かない窓口の仕組みを研究のうえ来庁される方のさらなる利便性向上に努めたい。

今後のDX推進計画は

問 令和3年11月に美幌町DX(デジタルトランスフォーメー

ション)推進計画が策定された。計画の背景・目的にある「誰一人取り残さない、人にやさしいデジタル化」というビジョンが国から示されているが「書かない窓口」を含めた今後の推進計画は。

答 国に準じて行政手続き及びRPA(ソフトウェアロボット)による業務自動化の活用やペーパーレス化の推進など役場業務のデジタル化を実施している。令和5年度からは公金収納へのスマートフォン決済アプリを導入するとともに、地方公共団体が優先的

にオンライン化を推進すべき児童手当認定請求などの子育て関係や要介護・要支援認定申請などの介護関係の26件の行政手続きがマイナンバーカードで行える予定である。今後は美幌町DX推進計画に基づき市民の利便性向上と行政サービスの効率化に努めたい。

避難所運営

問 避難所開設(運営)キット導入は

避難所開設(運営)キットは、避難所へ先に到着した町民や地域の自主防災組織の方々でも避難所を開設できるように大きめのプラスチックケースに立入禁止ロープや避難者名簿、必要事項が書かれているファイルなどが

にオンライン化を推進すべき児童手当認定請求などの子育て関係や要介護・要支援認定申請などの介護関係の26件の行政手続きがマイナンバーカードで行える予定である。今後は美幌町DX推進計画に基づき市民の利便性向上と行政サービスの効率化に努めたい。

答 主要な避難所には職員到着後、迅速に避難所開設ができるよう必要な物品のほか、避難者名簿や案内標識など専用ケースに収納した常設セットを準備している。大規模災害により職員が到着が遅れる際には地域に対して協力を求める場合もあることから、地域住民による避難所開設訓練を検討してまいりたい。



各議員の一般質問録画映像はQRコードからアクセスできます



少子化対策

◆馬場博美 議員



問 今後の少子化対策の事業展開は

答 住民ニーズをしっかりと把握し
子育て環境の充実に努めたい

問 これまでの少子化対策の取組経過と今後の事業展開は。

答 昨年度より結婚新生活支援事業を創設し、新婚世帯の住宅費用及び引越費用の一部助成により経済的負担の軽減を図っているほか、子育て支援センターによる一時預かりやリフレッシュ事業、子育て総合相談窓口は

ぐのんの」による支援などを行っている。今後も住民ニーズをしっかりと把握し、子育て環境の充実に努めてまいりたい。高校生以下の医療費無償化は

問 高校生以下の医療費を完全無償化することによって子育て支援策が拡充され人口減少対策の一つとなるのでは。

答 医療費助成は子育て支援、少子化対策として考えた場合に有効な手法のひとつではあるが、他にも妊娠、出産、産後ケア、保育、育児、教育といった包括的な体制や支援が必要である。

0〜2歳児保育料無償化は0〜2歳児の保育料を少子化対策の観点から無償化すべきでは。

問 限られた財源の中で0〜2歳児の保育料の完全無償化を実施することは多額の財政負担を伴うため慎重な判断が必要である。今後も国の動向を注視しながら少子化対策を効果的かつニーズに沿ったものとし、総合的に支援してまいりたい。



農業振興

酪農家への支援は

問 長期化する生産資材の高騰、個体販売価格の下落など依然として酪農経営は厳しい状況が続いている。将来にわたる持続的な酪農が営めるよう、今後も関係機関と連携しながら必要な支援を行うべきでは。

答 美幌町では国や北海道の対策とは別に酪農・畜産経営安定対策支援金給付事業として33戸の生産者を対象に1頭あたり7千200円、合計で1千964万8千円、12月に実施している。また、継続して実施している乳用種性判別凍結精液助成などの乳質向上や乳量

の増加に向けた取組は生産者や関係機関の意見を伺いながら引き続き支援してまいりたい。

子育て支援

問 町立保育園の整備計画は今後の町立保育園の整備計画は。

答 美幌町次世代育成支援推進協議会で児童福祉施設の在り方に関する議論を始める予定である。利用者からのニーズ把握、民間施設の受け入れ状況、施設の運営主体を検討していく必要があることから、民間施設とも協議しながら具体的な方針を固め、今後の保育施設の在り方を示してまいりたい。

各議員の一般質問録画映像はQRコードからアクセスできます



◆坂田美栄子 議員

教育行政

問 がん教育の課題は

答 専門性や経験を活用した指導と指導者の確保や効果的な授業を行えるかが課題である

問 がんの基礎知識を子どものうちから学んでおくべきとの考えから、学習指導要領の改訂により中学校では令和3年度からがん教育が必修化されている。美幌町の現状と課題は。

答 小学校第6学年の体育の授業で単元「病気の予防」で1時間程度、中学校第2学年の保健体育の授

業で単元「生活習慣病などの予防」で1時間程度を行っている。課題として、医療的な専門知識を必要とするため、がんに関わる専門性や経験を活用した指導と指導者の確保、少ない授業時数の中で効果的な授業を行えるかが挙げられる。がんは死因第1位であることの重要性和予防のための適切な生活習慣の必要性を認識させ、子どもの頃から正しい知識を身に付けられるよう指導してまいりたい。

問 部活動地域移行の課題は

部活動の地域移行

は、外部の部活動指導員が指導することで人数の確保や教員の負担軽減を図るもので、令和5年度から3年間を改革推進期間と位置づけ、地域の実情に応じて可能な限り早期の実現を目指すとしている。美幌町の課題は。

答 課題として、中学校間の連携調整が必要であることをはじめとして、運営団体や指導者、練習場所の確保など多くの課題があるものと考えている。今後は、指導主事を1名増員した中で準備を加速し、課題解決に向けた具

体的な方策を検討するとともに関係団体との協議など地域移行に向けた体制を整え、早期の地域移行の実現に向けて進めてまいりたい。



問 発達性協調運動障害(DCCD)は発達障がいの一つであるが、運動そのものではなく体力の低さや集団生活への消極性、自尊心の低下などほかの問題を抱えるケースが多く見られる。DCCDは早くから支援を進めていくことが望ましいことから、運動

発達性協調運動障害(DCCD)は発達障がいの一つであるが、運動そのものではなく体力の低さや集団生活への消極性、自尊心の低下などほかの問題を抱えるケースが多く見られる。DCCDは早くから支援を進めていくことが望ましいことから、運動

答 3歳児健康診査において運動発達などの確認を行いながら発達に心配のある幼児を早期に見出し、適切な指導に結び付けている。また、5歳児相談において発達支援センターへ引き継ぐなど包括的な支援を行っている。今後も教職員が障がいの特性を正しく理解した上で、児童生徒の不器用さや運動の苦手が精神的負担につながるような適切にサポートしてまいりたい。



各議員の一般質問録画映像はQRコードからアクセスできます



◆松浦和浩 議員

美幌駐屯地

問 退職自衛官の雇用確保対策は

企業説明会への参加や道東地域援護センターからの情報提供など再就職につながる機会を作ることが重要である

と聞いており、美幌町での就労対策が整うことにより、将来にわたり美幌町への定住が期待されることである。

行政・民間の定年延長により、隊員の雇用確保にかかる課題と解決策を町ではどのように考えているか。また、町では隊員OBを職員として採用しているが、今後の受入体制は。

定年延長の移行期は求人数の減少や退職時期にあわせた人材獲得など懸念はあるが、一方で人材不足を抱える企業などもあることから、再

就職を希望する隊員のみならず、在職中に培った技術や能力を多方面に活かせる職場で活躍されることを望んでいる。そのためには、雇用協議会が実施する企業説明会への参加や道東地域援護センター・美幌分室からの就業情報の提供など再就職につながる機会を作っていくことが重要であると考え

ている。また、退職自衛官の町職員としての採用状況は、自衛官として磨かれた経験や資格を活かして、施設管理業務や専門職として勤務しており、行政運営に

広く携わっていただいている。今後も道東地域援護センター・美幌分室を通じて、退職予定者へ町の採用予定情報を提供するなどの連携を図り、これまでどおりの採用につなげていきたい。

隊員の定住促進策は



退職後に美幌町に定住される方への住宅購入支援策は空き家対策にもつながると思うが、駐屯地隊員の退職後の定住促進策は。

美幌町では駐屯地隊員の退職者に特化した施策は実施していない。対象者を限定した住宅購入を支

援することについては個人の資産形成につながるから慎重に判断しなければならぬと考えており、広く町民が利用できる制度として住宅リフォーム促進補助や空き家等除却事業補助などにより、定住促進や空き家対策を推進している。住み良いまちづくりを進め、町民の満足度を高めることが美幌町に住み続けることにつながっていくものと考えており、引き続き魅力を高めるまちづくりを推進してまいりたい。



移住定住ガイドブック

移住定住ガイドブック

各議員の一般質問録画映像はQRコードからアクセスできます



◆ 稲垣 淳一 議員

福祉行政

問 第6期美幌町障がい福祉計画などの見通しは

答 アンケート調査や関係者との意見交換を行うなど障がい者のニーズを取りまとめ次期計画を策定したい

とを願わずにいられない。計画の進捗状況と今後の見通しは。

答

問 第6期美幌町障がい福祉計画及び第2期美幌町障がい児福祉計画は、障がいのある人が自立した日常生活を営むことができるように必要な障がい福祉サービスや相談支援、地域生活支援事業などが計画的に提供されるよう定められている。多くの検討会などをもとに策定した関係者の努力の結晶であり、たくさん笑顔につながるこ

概ね計画どおりに進んでおり、学識経験者や障がい福祉施設、障がい当事者団体などで構成する美幌町障害者自立支援協議会を年2回程度開催し、サービスなどの利用状況や相談支援事業活動などの報告を行い、計画の進行管理を行っている。今後は、次年度においてアンケート調査や関係者との意見交換を行うなど、美幌町障害者自立支援協議会委員の意見などにより障がい者の

問 高齢者保健福祉計画・第8期介護保険事業計画は、美幌町が取り組むべき高齢者の保健福祉施策を明らかにするとともに、介護保険制度の円滑な運営を計画的に実現するために定められている。多くの方にサービスが届き幸せな暮らしが続く

高齢者保健福祉計画の見通しは



ニーズを取りまとめ「誰もが安心して暮らせる人にやさしいまち」の実現に向けて次期計画を策定してまいりたい。

ことを願っているが、計画の進捗状況と今後の見通しは。

答

概ね計画どおりに進んでおり、4月1日に開設する小規模多機能施設は計画どおり施設の整備が実現した。今後は、1人暮らしの高齢者や高齢者のみの世帯、認知症高齢者、要介護認定者は増加する状況にあり、ニーズはさらに多種・多様化することが予想される。高齢者へのアンケートの実施や美幌町高齢者保健福祉・介護保険事業推進委員会委員の意見などによりニーズを把握しながら「高齢者が住み慣れた地域で生きがいをもって、互いに支え合い、そして安心して暮らせる

町の実現」に向けて次期計画を策定してまいりたい。

公共施設

きてらすの整備は

問

きてらすのトイレは1階まで降りなくてはならず、小さな子ども連れには大変である。コロナ感染が落ち着き利用者が増えてくることとが予想されるが、トイレの設置や新たな場所への移設の考えは。

答

施設の改修や移転に関する具体的な計画はないが、今後様々な視点から当該施設の方向性を検討してまいりたい。



林業館きてらす

各議員の一般質問録画映像はQRコードからアクセスできます



◆上杉 晃央 議員

公共交通

問 申込バス「モービー」の今後の方策は

答 乗合率を上げるために事業者と協議しながら効率的な運行体制への見直しを検討している

問 デマンド型申込バス「モービー」の運行から10か月が経過しているが、4月以降の利用者数の状況、収支状況の見直し、課題、利用促進を図るための乗合率の改善など、今後の方策は。

答 利用者数は順調に推移し、月に400人程度の方にご利用いただき、1月末現在の総利用者数は3

千55人となっている。また、収支状況は運行経費が約650万円に対し、運賃収入は110万円ほどになる見込みである。主な課題として、乗合率の向上と運転手不足が挙げられ、乗合率は現在1便につき約1.2人となっており、乗合率を上げるために事業者と協議しながら効率的な運行体制への見直しを検討しているところ。運転手不足は申込バスに限らず深刻化しており、令和4年度から2種免許取得費用の一部を町が支援する事業を開始している。今後も将

来に向けて町内公共交通を維持していくため、利用者の意見を受け止め、交通事業者の現場の声を大切にしながら、限りある人材を最大限に活かし、最適な公共交通を目指してまいりたい。



モービー

障がい者雇用

採用計画の見直しは

問 町の障がい者雇用

状況と当該職員の数、身分別の実数(正規職員、会計年度任用職員、非常勤職員区分及び障がい種類区分)、未達成の場合の今後の障がい者採用計画の見直しは。また、過去10年間の障がい者雇用状況は。

答 現在の障がい者の雇用状況は町長部局が5名、教育委員会が1名の計6名であり、過去10年間に採用した人数は1名(平成30年度採用)となっている。身分別には正規職員が2名、会計年度任用職員が4名で、障がいの種類は6名全員が身体障がいとなっている。美幌町は町長部局と教育委員会部局を合算した特例認定を適用できること

から、目標値2.6%を達成するためには2名の雇用が必要である。障がい者の採用を喫緊の課題とし、障がいの特性や能力などに合わせて勤務時間を柔軟に設定することも視野に入れてハローワークと協議を重ね、1月下旬には障がい者を対象にした募集広告掲載するなど、4月採用に向けて取り組んでいる。今後は、養護学校訪問による情報交換や、障がい者が働きやすい職場環境の整備に向けて、障がい者の特性や受入体制を学ぶ職員研修の実施などを予定している。



各議員の一般質問録画映像はQRコードからアクセスできます



◆大江道男 議員

少子化対策

問 少子化が進行している現状への認識は

答 安心して子どもを産み育てる環境づくりを進めていくことが重要であると認識している

問 昨年、美幌町の出生数は69人と9年間で半減し、2018年の社人研推計値88人を大きく下回っているが、美幌町の少子化の進行状況に対する認識は。

答 美幌町の出生数は、平成25年の156名から年々減少し、平成30年には91名、令和4年には69名と少子化が進行し

ている。少子化は社会構造の変化や社会保障負担増など様々な影響が考えられるが、今のところ多子化に急転する状況には無いことから、国の動向や出生動向を受け止めながら安心して子どもを産み育てる環境づくりを進めていくことが重要であると認識している。

問 コロナ禍による生活苦を背景に全国各地で学校給食費の無償化や一部助成を求めめる声が広がっており、美幌町でも「第3子以降の無償化を第

1子、第2子にも拡大を」の声が広がっている。国や北海道への費用負担を求めつつ、当面「第1子、第2子への給食費半額助成」実施に踏み込むべきでは。また、新入学児給金制度を創設し、新1年生に支給しては。

答 無償化は本来、国が費用負担の責任を果たすべきと考え

る。多額の財政負担を伴うことから全体的に子育て支援施策の状況も踏まえて慎重な判断が必要である。新入学児への祝金制度については、経済的理由によって就学が困難な児童生

徒の保護者に対しては就学援助費制度により私費負担の軽減を図っている。また、私費負担の公費負担は義務教育無償の原則と照らし合わせる



子ども均等割課税の廃止を

問 子育て支援に逆行する「子どもへの国民健康保険税均等割課税」は廃止すべきでは。

答 子育て世帯の負担軽減を図るための制度が充実していくことは重要と認識しているが、個別市町村が財源問題を抱えながら独自に制度化す

るのではなく、医療保険全体の在り方を検討する中で国の責任において取り組むべきと考えている。

問 子ども医療費無償化を

美幌町の子ども医療費助成制度は北海道の乳幼児医療費助成制度の基準に準拠するもので、北海道基準の拡大を求めつつ子育て支援のために18歳までの子どもの医療費完全無償化を図るべきでは。

答 子育て支援策の一つとして有効な施策と考えているが、妊娠、出産、産後ケア、保育、育児、教育と

いった包括的な体制や支援が必要と考えている。今後も国の動向を注視しながら施策の優先順位を見極め、総合的に支援してまいりたい。

各議員の一般質問録画映像はQRコードからアクセスできます



◆伊藤 伸司 議員

公共交通

問 農村地域における公共交通の考えは

答 公共交通の調査研究などに努め、農村地域のみなさまの足を確保していかなければならない

問 美幌町では平成21年3月に「美幌町地域公共交通総合連携計画（平成21年度～平成25年度）」を策定し、人口減少や家用自動車の普及を見据えた公共交通のあり方、持続可能な公共交通体系の構築を目標に実証運行などに取り組み、平成26年度から本格運行へと移行した。一方、国においては「交通政策基本法」を

制定するとともに、「地域公共交通の活性化及び再生に関する法律」の一部が改正され、持続可能な地域公共交通網の形成に資するため、地域公共交通計画の策定が努力目標とされた。法改正の趣旨を十分に踏まえ、将来を見据えてまちづくりと一体と



なった公共交通網の構築が必要である。

美幌町では過去の利用状況などを検証したところ、利用状況が低迷し、課題も見受けられ、検証の結果、令和4年1月に「美幌町地域公共交通計画」を新たに策定したところであり、昨年4月には市街地区域においてデマンドバス「モービー」の運行を開始、また「美幌循環線」の路線見直しを行い、利便性の向上が図られたと思われる。しかしながら、農村地域における公共交通については「混乗スクーラバス」「デマンド型乗合タクシー」などが

あるが、運行時間や停留所の不便さにより利用者のニーズに配慮されていないように思われる。今後、自動車運転免許証の返納が増えていくと考えられるが、農村地域における公共交通の考えは。

答

令和4年1月に策定した美幌町地域公共交通計画の基本方針を「将来に向けて持続可能な公共交通システムの構築を目指す」と定め、交通事業者や関係団体と連携・協力をしながら、地域を問わず全町的な公共交通の確保に努めているところ。公共交通計画を策定する際に実施したアンケートでは、農村地域からの意見として「新しい公共交通

手段の導入」や「乗車人数の少ない公共交通の見直し」「車両の小型化」を求める意見を多くいただき、効率と利便性を兼ね備えた公共交通を求める声が多いことを改めて認識したところ。今後は、直面する運転手不足などの課題やコロナ禍で減少した公共交通利用者の回復状況を注視しながら、新たな公共交通の調査研究や既存公共交通の効率化と改善に努め、農村地域にお住まいの方の足を確保していかなければならないと考えている。



各議員の一般質問録画映像はQRコードからアクセスできます



◆高橋 秀明 議員

市街地 活性化

問 中心部に憩いの空間を作っては

答 情勢を見極めながら美幌町に相応しい取組を総合的に判断したい

問 コロナ禍以前より市街地全体に活気が少ない状態であったが、コロナ禍によりさらに追い打ちを掛けている状態になっており、その影響で閉店・廃業に追い込まれている事業者も見受けられる状況である。特に中心市街地は顕著であり、町も最大の対策を講じて支援を行っているが、後継者問題もあって厳しい

状態だと推察する。公共施設と商業施設の融合は、今後の市街地活性化に有効な施策の一つとして中心市街地におけるにぎわい復活の起爆材になると考えるが、町の中心部に町内外の人が気軽に利用でき、憩いの場所となるような空間を作ることについての考えは。

答 町としては商工会議所や連合商店会と意見交換を行い、商店街を担っていかれる若者を対象に先進地への視察やセミナーの開催などに継続して支援し、事業を通して商店街にお

いて新たなイベントなどの取組につなげていただき、中心市街地の活性化に何が必要なか導き出していけるよう進めているところ。公共施設と商業施設の融合は選択肢の一つであると考えているが、引き続き情勢を見極めながら美幌町に相応しい取組を総合的に判断してまいります。

問

新規起業家などへの支援は



営業形態の変化な

ど様々な問題が重なり今後不安を感じている経営者が多く、一企業や一商店では大変厳しい現状である。町全体を民泊にする、または空き店舗を利活用して商店街全体を宿泊可能な施設に変えて町全体をホテルと位置付けて運営している事例もある。今後の新規起業家や既存企業などへの支援は。

答

美幌町では「起業家支援事業」「空き店舗活用事業」「店舗リフォーム事業」を実施している。「起業家支援事業」は地域の新たな雇用を創出するとともに、地域経済の振興を図るため起業に必要な経費の一部を補助している。「空き店舗活用事

業」は中心市街地区域の空き店舗における新規起業家などに対し空き店舗の家賃の一部を補助している。「店舗リフォーム事業」は集客力の強化による経営の安定化及び店舗機能の維持または向上を図るため店舗リフォームに要する経費の一部を補助しているが、補助制度の再利用について実施する。今後は既存事業を継続しながら、商工会議所をはじめとした関係団体と連携を図り、中心市街地活性化対策に取り組んでまいります。



各議員の一般質問録画映像はQRコードからアクセスできます



◆岡本美代子 議員

魅力づくり

問 市街地や周辺に実のなる木を植えては

答 周辺にお住まいの方の生活環境への影響に配慮しながら慎重に検討する必要がある

問 市街地やその周辺に実のなる木を植えることにより、後世の人たちの楽しみや美幌の魅力づくりの一つにできると考える。胡桃や栗の木など周辺の人が楽しめるのであれば手入れにも参加していただけないか。今後の美幌の魅力づくりとして調査研究する考えは。

答 実のなる木を街路樹にすることは落葉以外にも虫や鳥の糞などによる影響も考えられることから、周辺にお住まいの方の生活環境への影響に配慮しながら慎重に検討する必要がある。また、町内には住宅地内の街区公園や緑地など大小様々な28の公園があり、住宅地内の公園は同様に慎重な検討が必要と考えるが、周辺の方から要望があり、維持管理にご協力が得られれば、実のなる木を植えることは

可能ではないかと考える。



花いっぱい街づくり

多年草の植栽は

問

人口減少や高齢化社会を考えると毎年すべての花を植え替えるのではなく、多年草や宿根草などを取り入れた花壇づくりを考えてはどうか。数年かけて残す植物を増やし、その年に植える花を減らすことで省力化していくことが可能となる。多年草や宿根草の植栽を調査研究する考えは。

答 毎年の植え替え作業が減るメリットがある一方、冬を越すのが難しい品種もあることや数年に1回は株分けや掘り起こして植え替えが必要なものもある。今後は、花による景観づくりにご尽力いただいている美幌町フラワーマスター連絡協議会や花苗を育てていただいている花苗センターからもご意見をいただき調査研究してまいりたい。



公園整備

屋根の設置は

問

いつでも自由に使える公園をもっと積極的に使用すること

で高齢者の孤独感を解消することができるかと考えている。公園の中に一部屋根がある部分があれば暑い日や雨の日でも天候に左右されず、行事の予定も組むこともできる。屋根の設置の考えは。

答

屋根の無い休養施設はパーゴラという施設で、雨除けや完全な日陰作りには不向きな造りとなっており、8公園に13基、多くが昭和、平成初期に整備されている。施設の維持や修繕・更新は美幌町公園施設長寿命化計画による公園施設更新工事などにおいて実施しているが、今後幅広い年齢層に対応し、利用者の声や利用状況を踏まえ検討してまいりたい。

任期を終えて（退任あいさつ）（要旨）



美幌町長 平野 浩司

就任してからあっという間に過ぎました。町民のみなさまのために全力で走ってきたし、今も全力で走っている思いであります。

就任1年後には新型コロナウイルスが発生し、コロナ禍の中みなさんと歩んできました。行政として早く対応できたのは、みなさんが真摯に向きあってその都度真剣に判断いただき、ご賛同いただいた賜だと思っています。

任期中はみなさまにお世話になりました。心から感謝を申し上げます。



美幌町議会議員 大原 昇

今任期中は新型コロナウイルスの影響で議会活動が思うようにできず、消化不良の4年間でありました。

その中でも、自衛隊の改編は美幌町にとって新たな時代を迎える出来事でありました。

この4年間は議会を良くしよう、町民のための議会という思いでやってきたつもりであります。

4年間、私を支えていただいた議会のみなさま、行政のみなさまに深くお礼を申し上げます。

大原議長 松浦議員 全国町村議会議長会自治功労者表彰

3月2日、全国町村議会議長会による自治功労者表彰を受けた大原昇議長（議長在職7年以上）と松浦和浩議員（議員在職15年以上）に岡本副議長から表彰状が伝達されました。大原議長は「議員、町職員のみなさんのお陰であり、感謝の気持ちを忘れず議会運営に励みたい」、松浦議員は「今後も議員としてさらに精進したい」と謝辞を述べました。



大原議長 松浦議員

美幌町議会新体制がスタート

議員改選後初となる臨時会が5月11日(木)に開催される予定です。

当日は、議長・副議長の選出、常任委員会委員などの選任が行われ、新体制となる第20次美幌町議会の4年間がスタートします。



1月臨時会

原案どおり可決しました。主な内容は次のとおりです。

補正予算

一般会計

- 町道除排雪委託料 2,695万円
- 出産・子育て応援支援金 943万4千円
- 新型コロナウイルス感染症傷病見舞金給付 240万円
- 新規就農者に係る経営発展支援事業補助金 93万円

議会を傍聴しませんか

定例会は年4回（3月・6月・9月・12月）開かれ、議場入口にある受付票に住所と氏名を記入いただければ、どなたでも議会を傍聴できます。

6月定例会は6月19日(月)頃から開かれる予定です。

日程が正式に決まり次第、町のホームページなどでお知らせします。

3月定例会の傍聴者は3名でした。みなさまの傍聴をお待ちしております。

議会ホームページもご覧ください

「本会議開会中のライブ中継」や常任委員会の開催日などもお知らせしています。

美幌町ホームページから「美幌町議会」をご覧ください。



QRコードからアクセスできます

美幌町議会ホームページ閲覧件数

月日	会議名	閲覧件数
1月18日	第1回臨時会	82件
3月2日	第2回定例会第1日	652件
3月3日	第2回定例会第2日	253件
3月6日	第2回定例会第5日	229件
3月7日	第2回定例会第6日	221件
3月8日	第2回定例会第7日	114件
3月9日	第2回定例会第8日	95件
3月14日	第2回定例会第13日	196件
3月15日	第2回定例会第14日	151件
3月16日	第2回定例会第15日	145件

議会運営委員会

- 委員長 馬場博美
- 副委員長 戸澤義典
- 委員 岡本美代子
- 委員 上杉晃央
- 委員 高橋秀明

▼どのような顔ぶれのと
きも町を想う議論がなされ
ていますので、みなさま
には議会に関心を持つ
ていただき、議会報告会
などへのご参加をお願い
します。
(美代子)

あとがき

▼3月2日から16日ま
での予算議会も無事終了
し、第19次議会は改選期
を迎えました。

▼今年は町制施行100
年の節目の年ですが、豊
かな大地や森林、整備さ
れたインフラなど私たち
が現在享受できているの
は、先人たちの努力や汗
のお陰です。この豊かさ
を後世の人たちへ少しし
で、議会には大きな役割
があります。